

# 日本政治学会 会報

The JPSSA News

No.63

JUNE.2012

## 日本政治学会2012年度研究大会について

2012年度企画委員長 押村 高

本年度の研究大会は、10月6日(土)、7日(日)に九州大学「伊都キャンパス」で開催されます。

公募企画、公募セッション、自由論題、ポスター・セッションに応募された方々、ならびに企画立案にご協力いただいた方々に、お礼を申し上げます。

また、プログラム策定の段階で、報告予定のテーマや内容の変更をお願いした方々もいます。委員会の要望をお聞き届けいただいたことに感謝いたします。

セッションの総数は36(昨年度は30)で、内訳は共通論題(パネル・ディスカッション)、委員会企画7、公募企画12、公募セッション1、研究交流委員会企画8、国際交流委員会企画2、自由論題5、となっています。さらに「政治学のフロンティア」(ポスター・セッション)では、12人の若手会員が報告します。

6日(土)午後には、「政治は経済金融をコントロールできるのか」をめぐって、パネル・ディスカッションを企画しました。

グローバル化にともなうマーケット・パワーや格付け会社など私的権威の台頭のなかで、政治が自立性を確保し、金融危機を回避し、財政に民主的意思を及ぼすことができるのか。気鋭の論客に

議論していただきます。

その他、会員の方々の応募によって、東日本震災後の緊急課題としての「エネルギー政策と政治」を議論するセッションを、成立させることができました。

プログラム全体については、日本の政局の混迷を反映してか、「政権交代」や「民主党政権」についての研究報告が多いことを、特徴として指摘できるでしょう。

私自身、日本政治学会会員になって四半世紀がたちますが、10年前に比べると報告の専門性や実証性が高度となり、個別のテーマに絞り込んだ研究報告が標準となっています。

とはいえ、日本比較政治学会、日本行政学会、日本国際政治学会、政治思想学会など、より専門分野に特化した学会が存在することを考えると、「領域を横断するようなセッション」をより多く配置することが、研究大会の課題かもしれません。この点については、来年度以降の企画委員に委ねることとします。

10月に九州大学において開催される研究大会が、活発かつ有益な議論の交わされるフォーラムとなり、福岡の魅力を堪能する機会となりますよう、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

## 日本政治学会研究大会プログラム

第1日 10月6日(土)

10:00~12:00 分科会A(A1~A6)

### A-1 第一次世界大戦と日本

司 会：奈良岡聰智(京都大学)

報 告：森靖夫(同志社大学)

第一次大戦と日本陸軍

クリストファー・スピルマン(九州産業大学)

第一次大戦とアジア主義

菅原健志(イースト・アングリア大学大学院)

第一次大戦期のイギリス外交と日本

討 論：小林道彦(北九州市立大学)

西田敏宏(椛山女学園大学)

### A-2 自由論題(イギリス政治)

司 会・討 論：今井貴子(成蹊大学)

報 告：長富一暁(慶應義塾大学大学院)

イギリスと日本の選挙区割りの比較分析

渡辺容一郎(日本大学)

デーヴィッド・キャメロンの保守主義と政権交代

荒木宏(作新学院大学)

「公—私」政策変容におけるアカウンタビリティ理論の一考察—イギリス年金制度改革を事例に

### A-3 政権交代下の地方政治(公募企画)

司 会：浅野一弘(札幌大学)

報 告：松田憲忠(青山学院大学)

知事選における地方議会議員—2011年福岡県知事選挙

丹羽功(近畿大学)

奈良県知事選挙と関西広域連合

秋吉貴雄(熊本大学)

保守王国における民主党の限界—熊本市における二つの敗北

討 論：砂原庸介(大阪市立大学)

白鳥浩(法政大学)

### A-4 リスクにおける政策過程の研究(政策・制度研究会企画)

司 会：牛山久仁彦(明治大学)

報 告：福本博之

(日本防火・危機管理促進協会)

政策過程における「不確実性」の一考察—2009年新型インフルエンザ・パンデミック下の日本の対応を事例として

窪田悠一(新潟県立大学)

2009年豚インフルエンザに対する行政対応の比較研究—エジプト政府の対応を中心に

高橋幸子(帝京大学)

2009年新型インフルエンザにおける医療体制と行政対応について—仙台市、神戸市の事例から

討 論：小松志朗(早稲田大学)

角田和広(明治大学)

### A-5 アメリカ合衆国における政治的二極分化

司 会：中山俊宏(青山学院大学)

報 告：松本俊太(名城大学)

二極分化の実態

前嶋和弘(文教大学)

両極化を促進させる左右の社会運動

倉科一希(国際教養大学)

二極分化の外交への含意

討 論：久保文明(東京大学)

### A-6 日本の政治学の冷戦後の展開の批判的俯瞰(公募企画)

司 会：曾根泰教(慶應義塾大学)

報 告：猪口孝(新潟県立大学)

政治理論

細谷雄一(慶應義塾大学)

国際政治学

斉藤淳(ロゴス代表)

実証政治学

浅羽祐樹(山口県立大学)

## 比較政治学

討 論：山本吉宣（東京大学名誉教授）

13：20～15：20 分科会B（B1～B8）

### B-1 日欧交流委員会企画（詳細未定）

### B-2 自由論題（世論と政治外交）

司 会・討 論：木宮正史（東京大学）

報 告：横溝未歩（神戸大学大学院）

現代韓国における「保守／進歩」  
の変化—「江南左派」という視点  
から

浜中新吾（山形大学）・山尾大（九州  
大学）

イラクにおける政党支持構造とそ  
の変容—中東諸国とイラクにおけ  
る世論調査の計量分析から

セバスティアン・マスロー（東北大学）  
国内政治と国家安全保障政策のイ  
ンターフェース—北朝鮮と小泉・  
安倍政権における「外交の政治化」

討 論：木村正俊（法政大学）

### B-3 民主化後の民主主義定着に関する再検討（現 代政治学研究会企画）

司 会：坪内淳（山梨大学）

報 告：岩崎正洋（日本大学）

民主化とガバナンス

三竹直哉（駒澤大学）

多民族国家の民主化を再検討する

杉浦功一（和洋女子大学）

民主主義の定着と民主化支援

討 論：荒井祐介（東京工業大学）

### B-4 政権交代と社会運動（公募企画）

司 会：松谷満（中京大学）

報 告：申琪榮（お茶の水女子大学）

民主党政権は家族法改正運動にど  
のような変化をもたらしたのか

成元哲（中京大学）・原田峻（東京大学）

NPO法の制定・改正はなぜ成功し  
たのか

樋口直人（徳島大学）

東アジアという桎梏—民主党政権  
下での外国人参政権をめぐる政治

討 論：坪郷實（早稲田大学）

### B-5 2012年フランス大統領選挙の諸相と意味（公 募企画）

司 会：押村高（青山学院大学）

報 告：渡邊啓貴（東京外国語大学）

大統領選挙の構図と政策比較

畑山敏夫（佐賀大学）

キャスティングボートをもつ左右  
政党

大山礼子（駒澤大学）

政治制度の変容から見た2012年大  
統領選挙

討 論：小久保康之

### B-6 政治学の再構築へ—新たな課題に応じて（公 募企画）

司 会：羽場久美子（青山学院大学）

報 告：小林良彰（慶應義塾大学）

政治過程論の立場から

河田潤一（大阪大学）

比較政治学の立場から

杉田敦（法政大学）

政治思想の立場から

討 論：猪口邦子（日本大学）

### B-7 グローバル化の中のシティズンシップと民主 主義（公募企画）

司 会：田村哲樹（名古屋大学）

報 告：岸見太一（早稲田大学大学院）

移民選別とデモクラシー—法的強  
制を基準とする境界画定論の検討

白川俊介（日本学術振興会特別研究員）

討 論 デモクラシーとトランスナ  
ショナルな民主的制度の構想

内田智（早稲田大学大学院）

民主的シティズンシップの境界に  
関する理論的検討

討 論：前田幸男（大阪経済法科大学）

小田川大典（岡山大学）

## B-8 エネルギー政策と政治（公募セッション）

司 会・討論：白鳥浩（法政大学）  
報 告：山口希望（法政大学）・堀内慎一郎（早稲田大学大学院）  
日本社会党における原子力政策の変遷とその背景  
宮脇健（日本大学）・福田 充（日本大学）  
民主党政権の原発対応に関する福島県被災住民の意識  
浜田泰弘（成蹊大学）  
脱原発に至るドイツ環境行政—原発推進ロピイストと脱原発派

## 15：40～17：40 共通論題

### ラウンド・テーブル：政治は経済・金融をコントロールできるのか

司 会：河野勝（早稲田大学）  
パネル：猪木武徳（国際日本文化研究センター）  
齊藤淳（イェール大学）  
古城佳子（東京大学）  
土居丈朗（慶応義塾大学）  
田中拓道（一橋大学）

## 18：00～20：00 懇親会

## 第2日 10月7日（日）

### 9：20～11：20 分科会C（C1～C8）

#### C-1 実験政治学（政治学方法論研究会企画）

司 会：名取良太（関西大学）  
報 告：肥前洋一（北海道大学）  
実験室実験による投票制度の分析  
今井耕介（プリンストン大学）  
Using Survey Experiments to Elicit Truthful Responses to Sensitive Questions  
境家史郎（東京大学）  
政治学における「科学的アプローチ」観と実験的手法—神経科学における因果関係の特定について  
討 論：中村悦大（愛媛大学）  
谷口尚子（東京工業大学）

#### C-2 「脱魔術化」以後の政治思想

司 会：野口雅弘（立命館大学）  
報 告：宇野重規（東京大学）  
M・ゴーシェー『世界の脱魔術化』とデモクラシー  
三島憲一（東京経済大学）  
J・ハーバーマース『ポスト世俗化時代の哲学と宗教』と社会統合  
飯島昇藏（早稲田大学）  
L・シュトラウス『スピノザの宗教批判』と神学-政治問題  
討 論：千葉眞（国際基督教大学）  
大中一彌（法政大学）

#### C-3 候補者指名の政治学

司 会：磯崎典世（学習院大学）  
報 告：庄司香（学習院大学）  
プライマリ研究の現状—アメリカ・台湾の事例を中心に  
高選圭（韓国選挙研修院）  
韓国の事例  
吉田徹（北海道大学）  
フランス社会党の事例  
討 論：大西裕（神戸大学）  
濱本真輔（北九州市立大学）

#### C-4 民主党政権論（臨床政治学会企画）

司 会：藤本一美（専修大学）  
報 告：浅野一弘（札幌大学）  
民主党と危機管理  
清水隆雄（元国立国会図書館）  
民主党の外交政策  
信田智人（国際大学）  
民主党政権における政官関係の制度変化  
討 論：丹羽文生（拓殖大学）  
久保庭総一郎（読売新聞社）

#### C-5 現代日本の市政に関する研究

司 会：金井利之（東京大学）  
報 告：平林一臣（鹿児島大学）  
阿久根市政  
進藤兵（都留文科大学）

東京都政  
砂原庸介 (大阪市立大学)  
大阪市政

討 論 : 村松岐夫 (学習院大学)

## C-6 ベルルスコーニ現象をどう解釈するか (公募企画)

司 会 : 鈴木桂樹 (熊本大学)  
報 告 : 村上信一郎 (神戸市外国語大学)  
ベルルスコーニ現象の諸解釈  
池谷知明 (拓殖大学)  
ベルルスコーニ時代の政党制と選挙制度  
高橋利安 (広島修道大学)  
ベルルスコーニ時代の憲法体制と司法制度  
討 論 : 馬場康雄 (東京大学)  
高橋進 (龍谷大学)

## C-7 カンボジアPKO—20年の再検討 (公募企画)

司 会 : 平山実 (防衛大学校)  
報 告 : 村上友章 (立命館大学)  
カンボジアPKOの危機と日本—国連外交と自衛隊  
佐藤智美 (危機管理・安全保障学会主任研究員)  
オーラル・ヒストリーから見たカンボジアPKOの再検証—『カンボジア方式』の踏襲か、見直しか?  
西元徹也 (元陸上幕僚長)  
カンボジアPKOの回想—情報収集と国連文民選挙監視員の保護の観点から  
討 論 : 上杉勇司 (広島大学)

## C-8 自由論題 (日本政治史)

司 会・討論 : 中北浩爾 (一橋大学)  
報 告 : 原田伸一 (国土館大学)  
協力内閣運動—政党政治の行く先には  
小田義幸 (武蔵野大学)  
戦後食糧行政の起源—戦中・戦後の食糧危機をめぐる政治と行政

米山忠寛 (東京大学社会科学研究所)  
昭和戦前期日本における戦時体制の自己規定について

11 : 40~12 : 40 総会

13 : 00~15 : 00 分科会D (D1 ~ D8)

D-1 日韓交流委員会企画 (詳細未定)

## D-2 自由論題 (日本政治論)

司 会・討論 : 平野浩 (学習院大学)  
報 告 : 大村華子 (京都大学)  
現代日本政治における説明責任の分析  
平野淳一 (神戸大学)  
衆議院議員と市長—衆議院議員の市長選挙への対応  
松原真倫 (慶應義塾大学大学院)・渡邊兼盛 (慶應義塾大学大学院)  
「熟議」と「信頼」—我が国初の本格的討論型世論調査の検証  
浅野正彦 (拓殖大学)・Dennis Patterson (Texas Tech University) The Impact of Ministerial Status on Candidate Success in Japanese District Elections, 1967-2009

## D-3 アカウンタビリティ研究の現状と課題

司 会 : 小川有美 (立教大学)  
報 告 : 粕谷祐子 (慶応大学)・高橋百合子 (神戸大学)  
アカウンタビリティ研究の現状と課題  
曾我謙悟 (神戸大学)  
政治制度とアカウンタビリティの関係—多数国比較分析を通じて  
久保慶一 (早稲田大学)  
党内民主主義とアカウンタビリティ—ポスト社会主義圏の事例を中心に  
討 論 : 待鳥聡史 (京都大学)

## D-4 冷戦以降のキリスト教民主主義（公募企画）

司 会：伊藤武（専修大学）  
報 告：松尾秀哉（聖学院大学）  
冷戦とベルギー・キリスト教民主主義政党—分裂危機を念頭に  
近藤正基（大阪市立大学）  
統一ドイツのキリスト教民主同盟  
土倉莞爾（関西大学）  
冷戦から冷戦後へのフランス・キリスト教民主主義—MRPからUDFへ  
討 論：津田由美子（獨協大学）  
野田昌吾（大阪市立大学）

## D-5 戦前日本の模索（戦前戦後・比較政治史研究フォーラム企画）

司 会：荻部直（東京大学）  
報 告：松田好史（日本歴史学会）  
明治憲法体制下における常侍輔弼と内大臣  
大澤博明（熊本大学）  
明治陸軍に見る安全保障観  
松本洋幸（横浜開港資料館）  
近代水道の敷設をめぐる中央—地方の政治過程—水道条例から水道法まで  
討 論：五百旗頭薫（東京大学）  
村井良太（駒澤大学）

## D-6 グローバル化時代のデモクラシーの擁護（公募企画）

司 会：杉田敦（法政大学）  
報 告：山崎望（駒澤大学）  
変容するデモス？—国民国家の「再評価」の時代に  
五野井郁夫（立教大学）  
直接民主主義と「アナーキズム的ムーメント」の復権  
高橋良輔（佐賀大学）  
間接民主主義の位相転換—トランスナショナル公共圏の再埋め込みに向けて  
討 論：押村高（青山学院大学）  
遠藤乾（北海道大学）

## D-7 国民経済と民主主義的世界的構造危機（公募企画）

司 会：河田潤一（大阪大学）  
報 告：恒川恵市（政策研究大学院大学）  
日本の事例  
磯崎典世（学習院大学）  
韓国の事例  
石田博士（朝日新聞）・眞柄秀子（早稲田大学）  
イタリアとブラジルの事例  
討 論：新川敏光（京都大学）  
羽場久美子（青山学院大学）

## D-8 民主党の統治構造と党組織の変容（現代政治過程研究会企画）

司 会：前田幸男（東京大学）  
報 告：上神貴佳（高知大学）  
民主党政権における政策形成とマニフェスト  
堤英敬（香川大学）  
『保守王国』の民主党地方組織と権交代—香川県・宮崎県を事例として  
森正（愛知学院大学）  
民主党地方組織の集票構造と民意吸収プロセス—愛知県・三重県を中心に  
討 論：丹羽功（近畿大学）  
河村和徳（東北大学）

15：20～17：20 分科会E（E1～E5）

## E-1 現代日本の政治過程の諸相（現代政治過程研究フォーラム企画）

司 会：河野武司（慶應義塾大学）  
報 告：大川千寿（熊本大学）  
現代日本における政党・政治家の政策位置規定要因  
金兌希（慶應義塾大学）  
地方政治と政治的有効性感覚  
光延忠彦（島根県立大学）  
東京都営地下鉄の運賃決定をめぐる政治過程—東京メトロ、大阪市営、名古屋市営地下鉄との比較を

通じて

討 論：三船毅（愛知学泉大学）  
堤英敬（香川大学）

## E-2 ナショナリズム再考—近代日本における「国家」の自己認識の過程に即して

司 会：山田央子（青山学院大学）  
報 告：五百旗頭薫（東京大学）  
初期の条約改正史から  
月脚達彦（東京大学）  
朝鮮の国民国家形成に関連して  
尾原宏之（元首都大学東京）  
国民皆兵をめぐる議論を通して  
討 論：出原政雄（同志社大学）

## E-3 地方における行財政改革の日韓比較（日本政治過程研究会企画）

司 会：北村亘（大阪大学）  
報 告：金宗郁（香川大学）  
地方における行財政改革の日韓比較  
中谷美穂（明治学院大学）  
住民参加・行政参加改革に関する  
日韓比較  
名取良太（関西大学）  
政治制度と行財政改革に関する比  
較研究  
討 論：金井利之（東京大学）  
浅羽祐樹（山口県立大学）

## E-4 自由論題（政治理論・政治思想）

司 会・討論：佐藤正志（早稲田大学）  
報 告：近藤和貴（早稲田大学大学院）  
ソクラテスはメレトスを論駁した  
か—プラトン『弁明』篇における  
ソクラテスの目的について  
斉藤 尚（早稲田大学）  
「推論的ジレンマ」と司法審査制の  
役割について  
稲永祐介（フランス国立高等研究院）  
フランス復古王政期の国家と宗教  
—不敬の政治社会学

## E-5 政軍関係の比較政治学（公募企画）

司 会：大前信也（同志社女子大学）  
報 告：小森雄太（明治大学）  
政軍関係の一研究—「文民の暴走」  
に注目して  
小野圭司（防衛研究所）  
経済力の戦時動員に係る民軍関係—  
第2次大戦時の国際比較と実証分析  
平山実（防衛大学校）  
戦後日本の政軍関係の変容—意識  
レベルと制度レベルを中心に  
討 論：荒川憲一（防衛大学校）

## 10:00~16:00 政治学のフロンティア

橋本圭多（同志社大学大学院）  
諸外国会計検査院におけるアカウ  
ンタビリティの態様と民主主義—  
EUの制度格差是正化を事例に  
塩沢健一（学振特別研究員）  
東京都小金井市における2度の市  
長選挙と「ごみ問題」—「民意」  
は明示されたのか？  
佐々木研一朗（明治大学大学院）  
戦後新制大学における政治学の展  
開に関する一考察—旧帝大におけ  
る講座及びその担任者の設置から  
佐藤智美（防衛省）  
自衛隊は、現行の予備自衛官等制度  
で大規模災害に対処できるのか？  
平山実（防衛大学校）  
オーラル・ヒストリーから見た沖  
縄返還時の実態—鍋釜事案、政軍  
関係、自衛隊配備、沖縄の戦略的  
価値を中心に  
本田亜紗子（早稲田大学大学院）  
ヨーロッパ福祉国家における政策  
決定過程—党派性とEU  
小野寺広幸（中央大学大学院）  
空間スケールとスケールの政治を  
めぐる研究が政治学にとって持つ

意義—政治学の空間論的転回に向けて  
稲澤宏行（立命館大学大学院）  
武器輸出三原則と戦後日本における  
平和主義規範の拡大  
具裕珍（東京大学大学院）  
冷戦後の日本における歴史問題を  
めぐる保守運動の脅威認識構造

河合晃一（早稲田大学大学院）  
災害対応と中央地方関係の分析  
古賀光生（立教大学法学部）  
大陸欧州小国における『構造改革』  
の比較政治  
上ノ原秀晃（東京大学）  
政治とカネ：政治改革の効果を検  
証する

## 研究大会報告論文の公開・入手方式について

### 日本政治学会事務局

日本政治学会では、報告論文をウェブページ上に公開したうえで、ダウンロードにより会員が各自でご入手いただく方式を採用し、研究大会期間中の報告論文の販売は行なっておりません。これは、販売・頒布用の報告論文の印刷といった報告者をはじめとする方々の負担を軽減することを目的とした方式です。本年度も同様の方式を採用させていただきますたく存じます。

なお、ウェブページを経由した報告論文へのアクセスは会員の方々に限定させていただきます。準備が整い次第、会員の皆様には閲覧・ダウンロードのためのパスワードをお知らせいたします。また、報告論文の閲覧・ダウンロード期間は、研究大会期間をはさんでその前後約2週間ずつを予定しております。以上、今年度も皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 九州大学からのお知らせ

昨年、東日本大震災の影響により、日本政治学会2011年度大会・研究会は岡山大学にて代替開催されましたが、2012年度も教室事情等により開催困難との相談を千葉大学よりうけ、九州大学伊都キャンパスでお引き受けすることにいたしました。

九州大学伊都キャンパスは、福岡市西区の糸島半島の中央部、福岡市中心市街地より1時間ほどの場所にあります。文学部、法学部、経済学部、教育学部、理学部、工学部、農学部、および全学教育の移転が計画され、すでに工学部と全学教育が移り、今後、文系諸学部と理学部、農学部の移転が予定されております。

移転の最中であるためキャンパス環境はまだ十分に整ってはならず、大規模学会を開催するには種々の制約があります。しかし、上記のような事

情から学会開催をお引き受けいたしました。ご不便をおかけすることと思っておりますが、開催経緯をご理解の上、大会運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。

#### ① 参加申込

今回の大会・研究会ではハガキならびにインターネットによる事前参加申込は行いません。参加費、懇親会費は当日、現地の会場受付にてお支払いください。お釣りのないようご用意をお願いいたします。

#### ② 宿泊

伊都キャンパス周辺には宿発施設がありません。福岡市中心市街地の天神、中洲川端、博多駅



周辺のホテルをご利用ください。なお、学会が開催される10月6日（土）7日（日）は三連休と重なっており、福岡市内でも各種のイベントが予定されています。イベントが集中する場合、福岡市内のホテルが予約できなくなることがあります。どうかお早めにホテルをご予約ください。

### ③ 会場ならびに会場へのアクセス

会場は九州大学伊都キャンパス（福岡市西区元岡744）、センターゾーン、センター2号館です。会場へのアクセスは市営地下鉄・JR筑肥線・昭和バス（九大ビッグオレンジ前まで）をご利用ください。主要地からの乗車時間（乗り換え時間含まず）と料金は次のとおりです。

福岡空港から、約50分、740円。

博多駅から、約45分、710円。

天神駅から、約40分、710円。

アクセスについては、「開催校からのご案内」に詳細を掲載いたします。大学のホームページでも御覧いただけます（<http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/info/index.html>）。

### ④ 懇親会

大会初日に予定されている懇親会は、センター2号館に隣接する生協食堂（地階）にて催します。

懇親会終了予定時刻は20時30分です。終了後は昭和バスの臨時便をご利用いただけますが、出席者多数のためお待ちいただくことが予想されます。ご了承ください。

### ⑤ 昼食

会場のすぐ近くで食事をとれるのは、大会会場の建物に隣接する生協食堂（1階）のみとなります。10月6日（土）の営業時間は11時から14時。日曜日はふだんは営業していませんが、10月7日は、11時30分から13時30分まで臨時営業をしていただけることとなりました。皆さまのご利用をおまちしております。

### ⑥ 託児所

託児所を開設いたします（有料）。開設場所は会場の建物の一室を予定しています。利用を希望する方は、事前にご相談ください。「開催校からのご案内」でもお知らせいたします。

問い合わせ先： 鏑木政彦  
kaburagi@scs.kyushu-u.ac.jp

Tel/Fax 092 -802 -5623  
九州大学大学院比較社会文化研究院  
〒819-0395 福岡市西区元岡744

## 『年報政治学』独立論文公募のお知らせ

査読委員会委員長 遠藤 乾

『年報政治学』では論文を公募しています。公募論文は、「特集」テーマに関連した「特集論文」と、特定のテーマにとらわれない「独立論文」の2種類に区分されます。「独立論文」は、特定の締切り期日を設けず受け付けています。ただし編集の都合上、2013年度第1号（2013年6月刊行予定）に掲載を希望される会員は、2012年10月20日までに下記の送付先に原稿をご提出ください。公募論文には査読による審査が行われます。審査を

公正かつ迅速に行うため、正副委員長のほか5名の委員からなる査読委員会が設けられています。査読委員会は、会員の中から査読者を選び、査読結果にもとづいて掲載論文を確定いたします。論文の投稿に関してくわしくは、日本政治学会ホームページに掲載されている「論文投稿規程」および「査読委員会規程」をご覧ください。

なお、二重投稿は規定により禁止されていることを申し添えます。

### \* 原稿送付先：

〒060-0809

札幌市北区北9条西7丁目北海道大学法学部 遠藤乾研究室内 日本政治学会査読委員会

電子メール：sadoku@juris.hokudai.ac.jp

### \* 投稿規程

独立論文・特集論文ともに学会ホームページ(<http://www.jpasa-web.org/toukou.html>)に掲載されている投稿規程に則り、メールおよび郵送にて上記へ送付して下さい。投稿規程により、未発表でない論文、論文の分量(注、参考文献、図表を含め原則20,000字以内)を超過している論文、また応募時点の年度の会費を納入済みでない会員の論文は受理できませんので、投稿前に必ず規程をご確認ください。分量の計算については、<http://www.jpasa-web.org/bunnryou.html> を併せてご参照ください。

## 『年報政治学』2013年度第1号特集論文公募のお知らせ

2013年度第1号年報委員長 齋藤 純一  
査読委員会委員長 遠藤 乾

2013年度第1号（2013年6月刊行予定）のテーマを「現代社会における宗教と政治（仮）」としました。ご存じのように、宗教に基づく（それをめぐる）言説や行動は、現代政治の重要なファクターになっています。クローナル化が進むなか、宗教的価値観は、私的領域にととまることなく、公的領域において、人々の政治的行動を喚起し、それを動員する機能を現に果たしていますし、宗教に関わる問題についてあらためて意思決定を行

うことも避けられなくなってきました。このような状況は、「世俗化」、「政教分離」、「社会統合」など宗教と政治をめぐる基本的諸論点を問い直すとともに、宗教を公的領域のなかにとのように位置つけるかについて再検討することを私たちに求めているように思われます。

そこで、このテーマに関連する研究論文の投稿を広く日本政治学会会員から募ります。多くの皆様から優れたご論考をお寄せいただくことを期待

しております。原稿の締め切りは2012年10月30日（消印有効）とします。投稿原稿は学会ホームページ（<http://www.jpasa-web.org/>）に掲載さ

れている投稿規則に則り、メールおよび郵送にて査読委員会宛にご送付ください。

## 『年報政治学』2013年度第Ⅱ号特集論文公募のお知らせ

2012年度第Ⅱ号年報委員長 遠藤 誠治  
査読委員会委員長 遠藤 乾

2013年度第Ⅱ号（2013年12月刊行予定）のテーマを「危機と政治変動（仮題）」といたしました。

2007年以後のサブプライムローン問題に発する世界の金融・経済危機は、多様な波及効果をもって今なお継続中です。また、日本でも、2011年の東日本大震災・津波・福島第一原子力発電所事故という複合的な危機に直面し、それへの対応過程にあります。

危機は一般的には大規模な政治変動を引き起こすきっかけとなることが多いといえるでしょう。第2次世界大戦という大規模な危機は、国際秩序や各国内部の政治経済構造に大きな変動をもたらしました。また、1970年代半ばの先進資本主義諸国の危機は、新自由主義に基づく大規模な変化をもたらしました。その延長で考えていけば、現下の危機も大規模な変化をもたらすのでしょうか。

もちろん、危機が起これば必ず変化が起こると

は限りません。また、危機への対応プロセス自体が、危機の深さや広がり、それまでの政治経済構造などによって拘束を受けることはいうまでもありません。さらには、危機の時代や瞬間においては、政治指導がきわめて大きな意義をもつことになるでしょう。

こうした問題意識を背景にして、危機と政治変動との関連を問う、政治思想、歴史研究、比較政治経済学、国際政治学などの分野の多様な論文の投稿を広く日本政治学会会員から募りたいと思います。多くの皆さんからのすぐれた論考を期待します。原稿の締め切りは2013年3月31日（消印有効）とします。

投稿原稿は学会ホームページ（<http://www.jpasa-web.org/>）に掲載されている投稿規程に則り、メールおよび郵送にて、査読委員会宛にご送付下さい。

## 2011年度日本政治学会第4回理事会議事録

日時：2011年12月10日（土）14時00分～15時30分  
場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス 現代法研究所  
会議室

第4回理事会においては、以下の事項が報告・協議された。

### 1. 各種委員会報告

#### ① 2012年企画委員会

押村委員長より、(i) 企画案を検討中であり、全体の構成としては基本的に2011年度のを踏襲する予定であることが報告された。また(ii) 学会報告の際の非学会員への交通宿泊費の支払いが提案される。(ii) について、種々審議の後、共通論題における非会員登壇者に限定して、定額で支払うことができるとの申し合わせがなされた。

#### ② 年報2013-II 編集委員会

遠藤誠治委員長より、特集タイトル「ポストクライシスの政治変動」については類似書名の書籍がすでにあったため、「危機と政治変動」とし、科研費に応募したことが報告された。また、以下の各会員を委員に選出したことが報告された。今井貴子（成蹊大学）、小川有美（立教大学）、小林誠（お茶の水女子大学）、佐々木寛（新潟国際情報大学）、進藤兵（都留文科大学）、真壁仁（北海道大学）、安武真隆（関西大学）、中溝和弥（京都大学）。

#### ③ 査読委員会

遠藤乾委員長（中野常務理事代読）より、2012-I号への独立論文応募は15件で、現在鋭意査読プロセスを進めていることが報告された。

#### ④ 2012年文献委員会

酒井委員長（中野常務理事代読）より、前年までの委員会の作業日程に沿い、この度、会員に対して、2011年1月～12月の間の業績の自己申告を求める通知を作成し、今月発行の『ニューズレター』最新号への掲載を学会事務局に依頼したこ

と。申告の締め切りは、2012年1月末とし、2月中旬以降から各分野の「学界展望」の作成作業にあたる予定であることが報告された。

#### ⑤ 国際交流委員会

小川委員長（中野常務理事代読）より、(i) イギリス政治学会（PSA）との成文協定のため、若松日欧交流小委員長が渡英し、PSAのTerrell Carver氏との間で日英共同草案が作成されたこと（配付資料参照）。内容はこれまでの交流慣行のうち、双務的な部分を文章化したものであることが報告された。(ii) 韓国政治学会2011年度冬季大会（12月2日（金）～3日（土）ソウル）への派遣報告者2名の公募を行い、第2回理事会の確認事項に従い締め切りを10月17日（月）に延長して選考を行ったこと。選考の結果、池直美会員（北海道大学）、野本啓介会員（北星学園大学）の派遣を決定したこと。野本会員は体調不良のため辞退したこと。また、今回日本政治学会執行部から同大会への出席はなかったが、杉田理事長からの挨拶状が、清水日韓交流委員長により韓国政治学会理事長に手渡されたことが報告された。(i) について種々審議ののち、原案通り承認された。

#### ⑥ IPSAについて

田中IPSA 執行委員より、2012年7月8日～12日にマドリッドで開催される次回IPSA 世界大会のパネルの参加締め切りがなされたこと。財政上の理由から、年会費を値上げし、収入増を図るために、今後世界大会の開催が3年ごとから2年ごととなること。また2012年4月14日～15日、に日本政治学会が招待するかたちでIPSA執行委員会が開催されること。執行委員会の開催と併せて、16日にIPSA国際シンポジウムを日本政治学会および早稲田大学グローバルCOEの共催により開催し、同シンポジウムにLeonardo Morlino氏（IPSA President）とHelen Milner氏（IPSA First Vice President）が登壇する予定であること。詳細が決まり次第、シンポジウムの案内を別途おこなうことが報告された。

## 2. 2011年度総会・研究大会

谷2011年度開催校理事（中野常務理事代読）より経理報告がなされ、これが承認された（配付資料参照）。

関連して、2012年度以降の総会・研究大会の会期について杉田理事長から審議の提案があり、種々議論の末、各大学における休日開講などの現状に鑑み、当分の間、会期を2日間とすることが確認された。

## 3. 日韓共同英文雑誌（単行本）について

増田担当理事より以下の報告がなされた。

i) 2011年10月、岡山市にて、日本側より杉田理事長と小野耕二会員（英文雑誌編集委員会委員長）、韓国側より朴賛郁理事長・朴 Cheol Hee会員が出席して打合せがなされ、従来の合意にもとづいて、2012年6月の刊行へ向け作業を進めていくことで合意した。その際、原版制作までは日本側で木鐸社に依頼して行うが、韓国政治学会員向けの印刷・配布分については韓国側で行う方針である。ii) 原版制作費用の負担方法について、その後、日韓の理事長・関係者間で協議した結果、為替事情等を勘案し、約80万円と見込まれる制作費用のうち、韓国側の負担分を20万円とする方針である。以上について、種々議論の末、原案通り承認された。なお、今後の英文雑誌等の刊行については、共同事業とするか学会としての単独事業とするかも含めて、継続して議論して行くことが確認された。

## 4. 入退会承認について

以下、13名の各氏を新・再入会員として承認した（事務局受付順、敬称略）

一般会員（8名）

藤森かよこ・稲永祐介・上谷修一郎・河村厚・李柱卿・武田宏子・山本圭・熊谷得志

学生会員（5名）

遠藤晶久・三浦正士・隠岐理貴・吉牟田剛・秋田真吾

前回理事会時の会員数1767名、この間の退会者は1名（逝去による退会1名）であり、今回の入会承認者13名を加えた結果、現在会員数は1779名となった。

## 5. 次回理事会の開催について

杉田理事長より、次回の理事会は2011年度第5回理事会として、2012年3月10日（土）の16時00分より、法政大学市ヶ谷キャンパスにおいて開催することが提案され、これが了承された。

## 6. 事務局報告

杉田理事長より、学会の沿革・設立趣旨、49号以前のニューズレター等のホームページへの掲載や英文ホームページの開設をとおした学会ホームページの充実化を考えていることが報告された。

以上

## 2011年度日本政治学会第5回理事会議事録

日時：2012年3月10日（土） 15：30～17：30

場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス 現代法研究所  
会議室

第5回理事会においては、以下の事項が報告・協議された。

### 1. 各種委員会の委員長・委員の確定および報告

#### ① 年報2012-I 編集委員会

真淵委員長より、2012-I号（「自民党と政権交代」）は、出版社に原稿を入稿し、刊行へ向けて順調に作業がすすんでいることが報告された（配付資料参照）。

#### ② 年報2012-II 編集委員会

辻中委員長より、2012-II号（「現代日本の団体政治」）は、7月に原稿が揃うよう、作業をすすめていることが報告された。

## ③ 2012年文献委員会

酒井委員長より、順調に作業が進んでいることが報告された。

## ④ 2012年書評委員会

大西委員長より、順調に作業が進んでいることが報告された。

## ⑤ 査読委員会

遠藤乾委員長（杉田理事長代読）より、2012-I号には15本の応募があり、すべて非掲載となったことが報告された。

## ⑥ 研究交流委員会

西川委員長より、以下の報告がされた。1) 分野別研究会責任者交代について。研究会名：構成主義的政治理論研究会。前責任者：小野耕二 2011年12月まで。新責任者：近藤康志 2012年1月から2014年12月まで。交代理由：小野会員の任期満了（2期4年）のため。2) 2012年度研究大会における分科会設置について。8つの分野別研究会から分科会設置申請が出され、(現代政治過程研究フォーラム：現代日本選挙の諸相。現代政治過程研究会：民主党の統治構造と党組織の変容。現代政治学研究会：民主化後の民主主義定着に関する再検討。戦前戦後・比較政治史研究フォーラム：戦前日本の模索。日本政治過程研究会：地方における行財政改革の日韓比較。臨床政治学会：民主党政権論。政治学方法論研究会：実験政治学。政策・制度研究会：リスクにおける政策過程の研究(仮)。)研究交流委員会として承認し企画委員会に送付した。その後、2月10日開催の企画委員会にて承認された(配布資料参照)。

## ⑦ 国際交流委員会

小川委員長（杉田理事長）より、イギリス政治学会PSAとの成文協定(AGREEMENT ON REGULAR SCHOLARLY EXCHANGE BETWEEN THE POLITICAL STUDIES ASSOCIATION OF THE UNITED KINGDOM AND THE JAPANESE POLITICAL SCIENCE ASSOCIATION)に、2012年2月1日付で杉田理事長が署名し、協定成立の運びとなったことが報告された。

## ⑧ 英文雑誌編集委員会

増田担当理事（杉田理事長代読）より、以下の報告がなされた。「英文雑誌執筆者」とそのテーマについては、次のようになっている。杉田敦（法政大学）：巻頭言。小野耕二（名古屋大学）：編者としての序文。山口二郎（北海道大学）・小林良彰（慶応大学）・谷口将紀（東京大学）：この間の国政選挙分析と政権交代後の政治。待鳥聡史（京都大学）・曾我謙悟（神戸大学）：地方政治の変容。大山耕輔（慶応大学）：日本の原子力政策。小野一（工学院大学）：ドイツ2009年総選挙と政権交代（投稿論文）。

共通テーマとして「日本における2009年総選挙と政権交代」を掲げ、寄稿を依頼するとともに、「3・11以後の状況」を踏まえ、大山会員に「原子力政策」についての論文を追加で依頼した。また、小野一論文はニューズレターで周知した「投稿募集」に基づき投稿されたもの。なお、それぞれの執筆者のあとにある説明は、論文内容の簡単な紹介であり、正式タイトルではない。

編集作業は若干遅れ気味で、まだ到着していない論文もあり、木鐸社への入稿は3月中旬を予定している。韓国側からも、8本の論文掲載予定に対して、1月末段階で6本の原稿を確保した、との連絡が入っている。このあとの校正作業の進行にもよるが、日本語の年報と時期を合わせて、6月末までには刊行する予定。木鐸社ともそのようなスケジュールを確認している。

## 2. 2012年度年次大会について

### ① 2012年度研究大会企画

押村委員長より、プログラムについて以下の報告がなされた。公募を1月31日に締め切り、公募企画に12件、公募セッション（エネルギー政策と政治）に3本、自由論題に24本の応募があった。2月10日に企画委員会を開催し、公募企画は12件、公募セッション（エネルギー政策と政治）は3本、自由論題は15本採択し、3本ずつ5つのセッションにわけた。現時点で、共通論題：1、分科会については、企画委員会：8、公募企画：12、公募セッション：1、自由論題：5、研究交流委員会：8、国際交流委員会：4（計38セッション）を予定していること。ついで押村委員長よ

り、帰路の交通アクセスを考慮して、最終日午後については、セッションとセッションの間を今回については30分を20分とすることが提案され、審議の後、これが了承された。また暫定プログラムにたいして、鍋木開催校理事より、初日の懇親会を18:30開始とする提案がなされ、審議の後、これが了承された。なおプログラムについて、6月発行ニューズレターに掲載する確定版大会プログラムの作成、確定版作成段階での全報告者のメールアドレスおよび所属先の把握については企画委員会でおこなうことが確認された。

## ② 2012年度開催校

鍋木開催校担当理事より、九州大学伊都キャンパスと博多駅・福岡空港間の交通アクセスについての詳細な説明がなされ、現在、バス会社と増便について交渉中であることが報告された。種々審議の後、懇親会について、開催校が最善と考える伊都キャンパス内で開催することが確認された。また昼食等について、伊都キャンパス周辺に土日に営業している店舗がないので、会員各自で用意してもらうこと、このことを事前に6月発行ニューズレター等で周知することが確認された。

## 3. 2011年度決算案及び2012年度予算案について

### ① 2011年度決算案

中野常務理事より、一般会計・名簿作成積立金・国際交流基金のそれぞれにつき2011年度決算案の説明が行われた。ついで西崎監事より監査報告が行われ、2011年度決算案が承認された〔配付資料参照〕。

### ② 2012年度予算案

中野常務理事より、一般会計・名簿作成積立金・国際交流基金のそれぞれにつき2012年度予算案の説明が行われた。審議の中で、名簿作成積立金について確認を要する事項が指摘され、この点に関しては、追って事務局で確認の上、理事会(持ち回り)にて審議することとした。以上の留保付きで、予算案は承認された〔配付資料参照〕。

## 4. IPSA担当理事について

杉田理事長より、2012年度に任期が終了するIPSA執行委員について、定められた手続〔IPSA執行委員候補者の選任は、理事長、国際交流委員長、常務理事、および現執行委員によって構成される選考委員会において行い、選考委員会はその結果を理事会に報告し、了承を受けるものとする(「2010年度日本政治学会第2回理事会議事録:6. IPSAについて」『日本政治学会 会報』No.60、2010年12月15日、14頁参照)〕に則ってIPSA執行委員候補者として、現IPSA執行委員の田中愛治理事を、IPSA執行委員の特性上、継続性を重視して選出したことが報告され、これが了承された。選出をうけて田中理事より、挨拶がなされるとともに、現在、執行役員会の日本会議(4月14、15日)およびこれと関連してシンポジウム(4月16日)を準備中であることが報告された。

## 5. 入退会承認について

以下、17名の各氏を新・再入会員として承認した(事務局受付順、敬称略)

一般会員(12名):小西敦・山形伸二・山尾大・清水隆雄・成元哲・角谷浩一・高橋幸子・豊福実紀・近藤和貴・野中尚人・松田好史・松本洋幸  
学生会員(5名):橋本圭多・小野寺広幸・岸見太一・浅井亜希・稲澤宏行

前回理事会時の会員数1779名、この間の退会者は11名(うち申し出による退会7名、逝去による退会4名)であり、今回の入会承認者17名を加えた結果、現在会員数は1785名となった。

## 6. 次回理事会の開催について

杉田理事長より、次回の理事会は2012年度第1回理事会として、2012年6月9日(土)の14:00より、大阪市大梅田キャンパスにおいて開催することが提案され、これが了承された。

## 7. その他

杉田理事長より、現在、歴代理事長、理事、各種委員会委員長について任期付き一覧を作成中であることが報告され〔配付資料参照〕、ついで、現在学会HPで公開されていないNo.50 DEC.2005

以前の会報についてもPDF化し、名簿部分を除いて掲載することが提案され、これが承認された。

## 8. 事務局報告

事務局より、『年報政治学 2007-I』が2月

に独立行政法人科学技術振興機構（JST）が運用する科学技術情報発信・流通統合システム（J-STAGE）上に搭載され一般公開され、以後、半年ごとに、次の号が順次公開されていく予定であることが報告された。

以上

## 2011年度日本政治学会第6回理事会議事録

2012年3月14日（水）、持ち回り

第6回理事会は、第5理事会の2012年度予算案審議のなかで、名簿作成費について確認を要する事項が指摘されたため、事務局で確認の上、追って理事会（持ち回り）にて審議することとしたため〔2011年度日本政治学会第5回理事会議事録：3. 2011年度決算案及び2012年度予算案につい

て参照〕、持ち回り理事会として開催された。

本理事会では以下の事項が提案され、これが了承された。2012年度予算案の「CANPAN ACNet業務委託費」の項目。CANPAN ACNetへの業務委託費について、内容を精査した結果、当初提案額より減額して2,700,000円とすることを提案し、これが了承された〔配付資料参照〕。

以上



# 学 会 ニ ュ ー ス

## 平成23年度決算（案）

### 日本政治学会 平成23年度収支計算書（会計別）

平成23年3月1日から平成24年2月29日まで

（一般会計）

（単位：円）

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
<b>【経常収入の部】</b>				
I 会費収入	10,982,000	11,857,696	875,696	
II 雑収入	3,000	96,550	93,550	
経常収入合計（A）	10,985,000	11,954,246	969,246	
<b>【経常支出の部】</b>				
I 事業費	7,190,000	6,270,787	△919,213	
1 研究会開催費	1,250,000	1,129,343	△120,657	
研究会準備金	600,000	595,503	△4,497	
大会プログラム集作成費	600,000	483,840	△116,160	
報告者礼金	50,000	50,000	0	
2 委員会経費	690,000	132,590	△557,410	
年報委員会	200,000	50,000	△150,000	
査読委員会	70,000	0	△70,000	
企画委員会	70,000	0	△70,000	
研究交流委員会	70,000	0	△70,000	
文献委員会	140,000	61,795	△78,205	
書評委員会	70,000	20,795	△49,205	
選挙管理委員会	70,000	0	△70,000	
3 印刷費	4,750,000	4,573,183	△176,817	
会報印刷費	350,000	347,760	△2,240	
年報印刷費	4,400,000	4,225,423	△174,577	
4 選挙管理費	500,000	435,671	△64,329	
II 管理費	3,050,000	2,770,042	△279,958	
1 理事会経費	40,000	13,602	△26,398	
2 事務局経費	240,000	41,665	△198,335	
運営費	50,000	0	△50,000	
人件費	40,000	0	△40,000	
経常費	100,000	41,665	△58,335	
慶弔費	50,000	0	△50,000	
事務局移転費	0	0	0	
3 CANPAN ACNet業務委託費	2,770,000	2,714,775	△55,225	
基本業務委託費	2,700,000	2,714,775	14,775	
J-STAGE	60,000	0	△60,000	
ホームページ	10,000	0	△10,000	
法人格取得費	0	0	0	
4 前年度会計監査料	0	0	0	
経常支出合計（B）	10,240,000	9,040,829	△1,199,171	
経常収支差額（C）=（A）-（B）	745,000	2,913,417	2,168,417	
<b>【その他資金収入の部】</b>				
その他資金収入合計（D）	0	0	0	
<b>【その他資金支出の部】</b>				
I 名簿作成積立金	200,000	200,000	0	
II 予備費	1,000,000	68,560	△931,440	
その他資金支出合計（E）	1,200,000	268,560	△931,440	
当期収支差額（F）=（C）+（D）-（E）	△455,000	2,644,857	3,099,857	
前期繰越収支差額（G）	13,234,319	13,234,319	0	
次期繰越収支差額（H）=（F）+（G）	12,779,319	15,879,176	3,099,857	

# 学 会 ニ ュ ー ス

(名簿作成積立金)

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
【経常収入の部】				
I 本年度積立金	200,000	200,000	0	
II 受取利息	0	132	132	
経常収入合計 (A)	200,000	200,132	132	
【経常支出の部】				
I 事業費	0	0	0	
1 名簿作成費	0	0	0	
2 事前調査費	0	0	0	
経常支出合計 (B)	0	0	0	
経常収支差額 (C) = (A) - (B)	200,000	200,132	132	
【その他資金収入の部】				
その他資金収入合計 (D)	0	0	0	
【その他資金支出の部】				
その他資金支出合計 (E)	0	0	0	
当期収支差額 (F) = (C) + (D) - (E)	200,000	200,132	132	
前期繰越収支差額 (G)	729,577	729,577	0	
次期繰越収支差額 (H) = (F) + (G)	929,577	929,709	132	

(国際交流基金)

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
【経常収入の部】				
I 本年度積立金	0	0	0	
II 受取利息	0	0	0	
経常収入合計 (A)	0	0	0	
【経常支出の部】				
I 事業費	4,905,000	1,685,395	△3,219,605	
1 国際交流プログラム助成費	900,000	776,735	△123,265	
2 企画委員会国際交流セッション	35,000	0	△35,000	
3 国際交流委員会経費	70,000	0	△70,000	
4 IPSA分担金	400,000	351,400	△48,600	
5 IPSA執行委員渡航費補助	200,000	76,340	△123,660	
6 大会開催校補助	100,000	100,000	0	
7 国際シンポジウム開催費	300,000	300,000	0	
8 英文雑誌編集委員会経費	400,000	80,920	△319,080	
9 英文雑誌作成費	2,500,000	0	△2,500,000	
経常支出合計 (B)	4,905,000	1,685,395	△3,219,605	
経常収支差額 (C) = (A) - (B)	△4,905,000	△1,685,395	3,219,605	
【その他資金収入の部】				
その他資金収入合計 (D)	0	0	0	
【その他資金支出の部】				
I 予備費	1,000,000	2,520	△997,480	
その他資金支出合計 (E)	1,000,000	2,520	△997,480	
当期収支差額 (F) = (C) + (D) - (E)	△5,905,000	△1,687,915	4,217,085	
前期繰越収支差額 (G)	13,963,997	13,963,997	0	
次期繰越収支差額 (H) = (F) + (G)	8,058,997	12,276,082	4,217,085	

# 学 会 ニ ュ ー ス

## 日本政治学会 平成23年度収支計算書（総括）

平成23年3月1日から平成24年2月29日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	名簿作成積立金	国際交流基金	合 計
【経常収入の部】				
I 会費収入	11,857,696			11,857,696
II 雑収入	96,550	132		96,682
III 本年度積立金		200,000		200,000
経常収入合計 (A)	11,954,246	200,132	0	12,154,378
【経常支出の部】				
I 事業費	6,270,787	0	1,685,395	7,956,182
1 研究会開催費	1,129,343			1,129,343
研究会準備金	595,503			595,503
大会プログラム集作成費	483,840			483,840
報告者礼金	50,000			50,000
2 委員会経費	132,590			132,590
年報委員会	50,000			50,000
査読委員会	0			0
企画委員会	0			0
研究交流委員会	0			0
文献委員会	61,795			61,795
書評委員会	20,795			20,795
選挙管理委員会	0			0
3 印刷費	4,573,183			4,573,183
会報印刷費	347,760			347,760
年報印刷費	4,225,423			4,225,423
4 選挙管理費	435,671			435,671
5 名簿作成事業費		0		0
名簿作成費		0		0
事前調査費		0		0
6 国際交流基金事業費			1,685,395	1,685,395
国際交流プログラム助成費			776,735	776,735
企画委員会国際交流セッション			0	0
国際交流委員会経費			0	0
IPSA分担金			351,400	351,400
IPSA執行委員渡航費補助			76,340	76,340
大会開催校補助			100,000	100,000
国際シンポジウム開催費			300,000	300,000
英文雑誌編集委員会経費			80,920	80,920
英文雑誌作成費			0	0
II 管理費	2,770,042			2,770,042
1 理事会経費	13,602			13,602
2 事務局経費	41,665			41,665
運営費	0			0
人件費	0			0
経常費	41,665			41,665
慶弔費	0			0
事務局移転費	0			0
3 CANPAN ACNet業務委託費	2,714,775			2,714,775
基本業務委託費	2,714,775			2,714,775
J-STAGE	0			0
ホームページ	0			0
法人格取得費	0			0
4 前年度会計監査料	0			0
経常支出合計 (B)	9,040,829	0	1,685,395	10,726,224
経常収支差額 (C) = (A) - (B)	2,913,417	200,132	△1,685,395	1,428,154
【その他資金収入の部】				
その他資金収入合計 (D)	0	0	0	0
【その他資金支出の部】				
I 名簿作成積立金	200,000			200,000
II 予備費	68,560		2,520	71,080
その他資金支出合計 (E)	268,560	0	2,520	271,080
当期収支差額 (F) = (C) + (D) - (E)	2,644,857	200,132	△ 1,687,915	1,157,074
前期繰越収支差額 (G)	13,234,319	729,577	13,963,997	27,927,893
次期繰越収支差額 (H) = (F) + (G)	15,879,176	929,709	12,276,082	29,084,967

# 学 会 ニ ュ ー ス

## 貸借対照表総括表

平成24年 2月29日現在

(単位：円)

科 目	一般会計	名簿作成積立金	国際交流基金	合 計
<b>【資産の部】</b>				
流動資産				
現金預金	16,107,176	929,709	12,276,082	29,312,967
現 金	0	0	0	0
振替貯金	12,300,129	0	0	12,300,129
普通預金	3,807,047	929,709	12,276,082	17,012,838
流動資産合計	16,107,176	929,709	12,276,082	29,312,967
固定資産				
固定資産合計	0	0	0	0
資 産 合 計	16,107,176	929,709	12,276,082	29,312,967
<b>【負債の部】</b>				
流動負債				
前受金 次年度分会費払い込み	228,000			228,000
流動負債合計	228,000	0	0	228,000
固定負債				
固定負債合計	0	0	0	0
負 債 合 計	228,000	0	0	228,000
<b>【正味財産の部】</b>				
前期繰越正味財産	13,234,319	729,577	13,963,997	27,927,893
当期正味財産増加額 (減少額)	2,644,857	200,132	△1,687,915	1,157,074
正味財産合計	15,879,176	929,709	12,276,082	29,084,967
負債・正味財産合計	16,107,176	929,709	12,276,082	29,312,967

## 財 産 目 録

平成24年 2月29日現在

(単位：円)

科 目	一般会計	名簿作成積立金	国際交流基金	合 計
<b>【資産の部】</b>				
流動資産				
現金預金 手許有高	16,107,176	929,709	12,276,082	29,312,967
振替貯金 ゆうちよ銀行019店	12,300,129			12,300,129
普通預金 ゆうちよ銀行008店	3,807,047			3,807,047
三菱東京UFJ銀行神保町支店		929,709		929,709
三菱東京UFJ銀行神保町支店			12,276,082	12,276,082
流動資産合計	16,107,176	929,709	12,276,082	29,312,967
固定資産				
固定資産合計	0	0	0	0
資 産 合 計	16,107,176	929,709	12,276,082	29,312,967
<b>【負債の部】</b>				
流動負債				
前受金 次年度分会費払い込み	228,000			228,000
流動負債合計	228,000	0	0	228,000
固定負債				
固定負債合計	0	0	0	0
負 債 合 計	228,000	0	0	228,000
<b>【正味財産の部】</b>				
前期繰越正味財産	13,234,319	729,577	13,963,997	27,927,893
当期正味財産増加額 (減少額)	2,644,857	200,132	△ 1,687,915	1,157,074
正味財産合計	15,879,176	929,709	12,276,082	29,084,967
負債・正味財産合計	16,107,176	929,709	12,276,082	29,312,967

# 学 会 ニ ュ ー ス

## 平成24年度予算（案）

（一般会計）

（単位：円）

科 目	予算額
【経常収入の部】	
I 会費収入	11,048,000
II 雑収入	1,000
経常収入合計（A）	11,049,000
【経常支出の部】	
I 事業費	6,770,000
1 研究会開催費	1,300,000
研究会準備金	600,000
大会プログラム集作成費	650,000
報告者礼金	50,000
2 委員会経費	620,000
年報委員会	200,000
査読委員会	70,000
企画委員会	70,000
研究交流委員会	70,000
文献委員会	140,000
書評委員会	70,000
選挙管理委員会	0
3 印刷費	4,850,000
会報印刷費	400,000
年報印刷費	4,450,000
4 選挙管理費	0
II 管理費	3,250,000
1 理事会経費	40,000
2 事務局経費	440,000
運営費	50,000
人件費	40,000
経常費	100,000
慶弔費	50,000
事務局移転費	200,000
3 CANPAN ACNet業務委託費	2,770,000
基本業務委託費	2,700,000
J-STAGE	60,000
ホームページ	10,000
法人格取得費	0
経常支出合計（B）	10,020,000
経常収支差額（C）=（A）-（B）	1,029,000
【その他資金収入の部】	
その他資金収入合計（D）	0
【その他資金支出の部】	
I 名簿作成積立金	200,000
II 予備費	1,000,000
その他資金支出合計（E）	1,200,000
当期収支差額（F）=（C）+（D）-（E）	-171,000
前期繰越収支差額（G）	15,892,000
次期繰越収支差額（H）=（F）+（G）	15,721,000

# 学 会 ニ ュ ー ス

(名簿作成積立金)

(単位：円)

科 目	予算額
【経常収入の部】	
I 本年度積立金	200,000
II 受取利息	0
経常収入合計 (A)	200,000
【経常支出の部】	
I 事業費	
1 名簿作成費	650,000
2 事前調査費	0
経常支出合計 (B)	650,000
経常収支差額 (C) = (A) - (B)	-450,000
【その他資金収入の部】	
その他資金収入合計 (D)	0
【その他資金支出の部】	
その他資金支出合計 (E)	0
当期収支差額 (F) = (C) + (D) - (E)	-450,000
前期繰越収支差額 (G)	929,709
次期繰越収支差額 (H) = (F) + (G)	479,709

(国際交流基金)

(単位：円)

科 目	予算額
【経常収入の部】	
I 本年度積立金	0
II 受取利息	0
経常収入合計 (A)	0
【経常支出の部】	
I 事業費	
1 国際交流プログラム助成費	1,800,000
2 企画委員会国際交流セッション	35,000
3 国際交流委員会経費	70,000
4 IPSA分担金	400,000
5 IPSA執行委員渡航費補助	450,000
6 大会開催校補助	100,000
7 国際シンポジウム開催費	300,000
8 英文雑誌編集委員会経費	400,000
9 英文雑誌作成費	2,500,000
経常支出合計 (B)	6,055,000
経常収支差額 (C) = (A) - (B)	-6,055,000
【その他資金収入の部】	
その他資金収入合計 (D)	0
【その他資金支出の部】	
I 予備費	1,000,000
その他資金支出合計 (E)	1,000,000
当期収支差額 (F) = (C) + (D) - (E)	-7,055,000
前期繰越収支差額 (G)	12,270,000
次期繰越収支差額 (H) = (F) + (G)	5,215,000



## 事務局より

### 会費納入についてのお願い

年会費をまだ納入されていない方が若干おられます。何とぞ速やかにご協力のほど、お願いいたします。一般会員は7,500円、学生会員は5,000円です。また、シニア会員（会費5,000円）および終身会員（一時金30,000円又は20,000円）の制度がございますので、ぜひご利用下さい。郵便振替により、以下の口座番号、加入者名あてに納入をお願いいたします。

口座番号：00120-2-500664

加入者名：日本政治学会

なお、2012年度末までに2012年度および2011年度の会費を納入されなかった会員の方は、「日本政治学会規約」第8条に基づき、自動的に退会扱いとなりますので、ご注意ください。会費の納入状況につきましてご不明な点は、ACNet までお問い合わせ下さい。

### 訃報

下記の会員が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

- 有澤秀重氏 中央大学准教授 ドイツ現代政治史 1948年生  
江川 潤氏 中央大学名誉教授 政治学 政治過程論 1934年生  
佐竹 寛氏 中央大学名誉教授 政治思想 政治学・政治理論 政治哲学 1923年生  
藤田市治氏 湖北工業(株)代表取締役社長 政治理論 政治思想史 1928年生  
寄本勝美氏 早稲田大学教授 地方自治 環境政策 1940年生

### 本号の目次

1. 日本政治学会2012年度研究会について ..... 1
2. 2012年度研究大会プログラム ..... 2
3. 研究大会報告論文の公開・入手方法について ..... 8
4. 研究大会開催校（九州大学）からのお知らせ ..... 8
5. 論文公募のお知らせ ..... 10
6. 理事会議事録 ..... 12
7. 平成23年度決算（案） ..... 17
8. 平成24年度予算（案） ..... 21
9. 事務局より ..... 23

2012年6月15日発行

発行 日本政治学会事務局

中野勝郎

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1  
法政大学法学部資料室内

FAX：03-3262-7822

E-mail：jpsa@ml.hosei.ac.jp

<http://www.jpsa-web.org/>

特定非営利活動法人CANPANセンター ACNet事務局  
日本政治学会担当（住所変更・会費）

〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2  
日本財団ビル

TEL：03-6229-5104

FAX：03-6229-5116

E-mail：ac001-jpsa@canpan.org

印刷 よしみ工産(株)